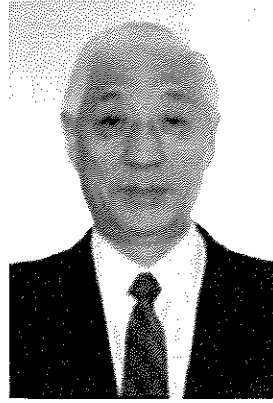


ふくしま県人会だより

第 12 号
平成 17 年 8 月
福島県人会
北海道連合会

会長あいさつ

会長 長谷川 顕



『福島県人会だより』発刊に当たり一言御挨拶を申し上げます。去る五月十四日に開催された北海道連合会総会には、佐藤知事御夫妻をはじめ、県議会議長渡辺敬夫様、会津若松市長菅家一郎様、御臨席のもと盛会裡に終了致しましたことを御報告申し上げます。新年度の発表を迎えることができました。これも偏に稚内県人会員の献身的な運営の賜と衷心より厚くお礼申し上げます。

また、御来賓の皆様におかれましては、前日に利尻島に渡られて

会津藩士の墓参をされ、総会当日には稚内市宗谷に赴き、防人として活躍した会津藩士の慰霊をされるなど、旅の疲れも見せず御活動されたことに改めてお礼を申し上げます。

昨年来、福島県と北海道との交流事業に対し、福島県県政広聴グループ・参事金子久光様の県政報告にありました通り益々親密度を増し発展されるのではとの期待に胸を躍らせております。今年には北海道において交流シンポジウムが開催される予定と聞いておりますが、多くの方々の参加を期待しております。現下の経済情勢は依然として厳しく、また政情も不安定の中いかに智恵を出し合い、意義のある社会活動ができるか県人会員相互が連携を密にしていく必要があります。

来年の連合会総会は、苫小牧県人会が幹事県人会として運営いただくことに決定しております。苫小牧で開催されるのは初めてのこ

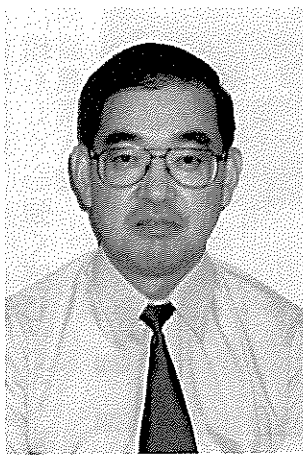
とで戸惑うこともあろうかと思いますが、何卒宜しくお願いいたします。

会員の中には苫小牧の地が初めての方もいらっしゃると思いますが、多くの会員の御参加をお願いいたします。と共に、笑顔でお会いできる日を楽しみにしております。特に健康には十分留意され、元気な姿での再会をお待ちしております。

終わりに、会員の皆様の御健勝と御多幸を祈念し、御挨拶に代えさせていただきます。

新任所長あいさつ

津田 正美



四月の人事異動で次長から昇任して所長となりました。昨年は皆様方に大変お世話になりました。厚く御礼を申し上げます。また、五月に開催された連合会の総会をけがのため欠席し、皆様方に多大なるご

迷惑をおかけしましたこと、深くお詫びを申し上げます。

当北海道事務所も昭和二十七年の開所以来半世紀以上が経過し、今年で五十三年目を迎えております。この間、県人会の皆様方からは多大なる御支援、御協力を頂き、重ねて御礼を申し上げます。これまで当事務所が円滑に仕事をこなしてこれたのも、県人会の皆様方の御支援の賜であると考えております。

さて、昨年より始まった「北海道と福島県の交流事業」の一環である「ふくしまフレンド」制度には、各県人会から七名の方にフレンドになっていただいております。現在、フレンドの皆様方には、福島県の最新情報を発信していただいております。改めて御礼を申し上げます。なお、今年の交流事業につきましては、札幌で、福島県知事がフレンド等との懇談会を行うほか、支笏湖と猪苗代湖の水環境保全に係る交流を北海道において開催することなどを予定しております。

また、七月からは地元市町村とJRグループ六社による「あいづドスティネイションキャンペーン」が始まりました。野口博士の

会員通信

新千円札効果も重なり、今年には会津を中心に多くの観光客が予想されます。今回はいつもと違う会津の魅力に出会えますので、皆さんも是非こぞつてふるさと福島へおいで下さい。

県事務所といたしましては、今後とも、皆様方の御支援を受けながら、積極的に仕事に取り組みとともに、北海道と福島県の架け橋としての役割も果たしてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「美幌町福島県人会から…」

美幌町福島県人会監事

前崎 孝子

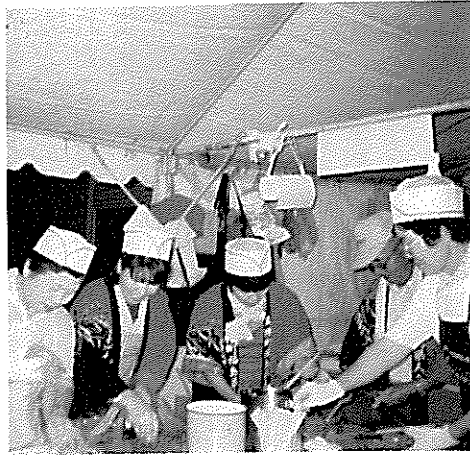
私が福島県人会に入会させていただき、平成八年でした。

母親が会津出身であった事と、義理の姉が福島市であることから福島県の情報に関心が高かったと思います。

町内の知人と会話しておりました

た時に会津若松の白虎隊が話題となり、次第に町内にあります福島県人の諸活動が紹介されましたと同時に入会の勧めがありましたので即入会となりました。

以来十年近い月日が流れていますが、現在の県人会は宍戸会長をはじめ、約四十名で組織されています。町内に数多くの県人会がある中で、私達福島県人会は最も活発な活動がなされております。



年度計画を見ます時に、新年会からスタートして、総会、春の花見、上部団体の総会参加、夏は観光イベントへの参画、秋には祭典での野外出展（三張りのテント利用）で鯛焼き、焼き鳥串、その他各種メニューを販売すること三日間、それは名実ともに当県人会の根性と忍耐そのものです。

このように県人会が一致協力して成し遂げる大事業は、大きな成果と、併せて会員相互の絆がより深まる等、誠に意義深いものを感じております。

故郷を思う福島県人会同志の団結心は想像以上のものがあり、本当に頼もしく心強く感じております。



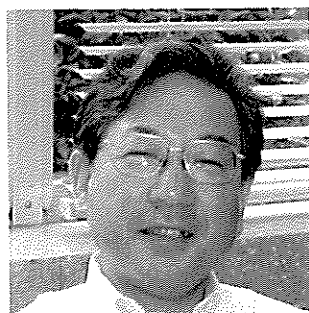
これからも、美幌町福島県人会発展のために、微力ですが力いっぱい頑張りたいと思っております。

で、よろしくお願いいたします。
母の故郷を思い
浮かべながら…

OBからのお願い

「北海道事務所の思い出」

第八代次長 鈴木 和夫



平成に改まって日も浅い三月三十一日夜、札幌の土を踏みました。時計台の鐘の音に眠りを破られ平成元年四月一日を迎えました。時計台にほど近いホテルから事務所へ着任、三年間のスタートを切りました。故郷を遠く離れた北の地で、どういう生活が待っているのか、いくばくかの寂しさと不安を抱えたあの日のことが懐かしく思い出されます。

北海道には幾多の思い出が溢れています。県人会とのかかわりで特に印象に残る二点について述べてみます。

元年の連合会総会は稚内が会場。稚内県人会の相楽会長を筆頭に現連合会会長の長谷川さんら、役員の方々の熱意と各地より参ずる県人をもてなす周到な心配りに頭の下がる思いをしました。また、佐藤知事就任後初めての出席とあって、総会後の懇親会では歌あり踊りありの大芸能会となるほどの盛況ぶりでした。故郷を同じくする者同士、いくつもの荒波を乗り越え道内での基礎を築いた方々の結束・絆に大きな感動を受けました。翌年の紋別そして弟子屈といずれの総会も楽しく、強く心に残っています。

次は本県と北海道の経済交流に關して、当時は空港開設を控え就航先との交流が叫ばれ始めた頃でもあり、県と道の交流会が平成二年九月と決まりました。七月から道庁・経団連・ホクレン等へ出席要請に走り回りました。当初、すでに本州各地と多くの路線を持つ道の反応ははかばかしくなく自信を失いかけていました。しかし福島県人会の後押しや道庁の本県縁故者の計らいもあり、道知事はじ

め各界トップが勢揃いし本県トップとの間で和やかに実のある交流が行われました。改めて本県ゆかりの方々に多大の御支援を頂いたことに深く感謝申し上げる次第であります。

会津藩の北方警備から二百年に及ぶ本県と道の歴史の歩みの中に、僅かとはいえ身を置けたことを大変誇りにまた幸せに思っています。北への憧れは、遙かな人を恋い慕う心に似て甘くそして切なさを伴いながら、その思いはさらに強まっているように感じられます。

北海道県人会の皆様本当にお世話になりました。心よりお礼を申し上げます。次回お逢いできる日を心待ちにしております。

連合会の活動

平成十六年度第二回役員会

平成十七年一月二十七日

札幌市「ホテルクレスト札幌」

平成十七年度第一回役員会

平成十七年五月十四日

稚内市「稚内全日空ホテル」

平成十七年度連合会総会

第三十三回連合会総会は、五月十四日に稚内全日空ホテルを会場に、佐藤栄佐久知事御夫妻をはじめ、渡辺敬夫県議会議長や北海道知事（日野健一宗谷支庁長代理出席）、菅家一郎会津若松市長などを来賓としてお迎えし、会員百三十二名が参加して盛大に開催されました。

席上、知事感謝状が大内清治さん（苦小牧）に、連合会長感謝状が相楽悦子さん（稚内）はじめ十名の方に贈呈されました。

なお、次期開催地である苦小牧県人会から歓迎のあいさつがあり、来年の再会を誓い合っていました。

新会員紹介

札幌福島県人会

香内孝司（こううちたかし）	福島市
谷川幸吉（たにかわこうきち）	会津本郷町
浅沼 勝（あさぬままさる）	湯川村
坂口桂子（さかぐちけいこ）	二本松市
佐々木正（ささきただし）	いわき市
長沢清司（ながさわせいじ）	猪苗代町

旭川福島県人会

山口正幸（やまぐちまさゆき）	船引町
高宮良純（たかみやよしずみ）	二本松市
圓谷 清（つむらや きよし）	郡山市
大槻武夫（おおつき たけお）	保原町
岩倉淑子（いわくら よしこ）	保原町
川上享子（かわかみ あつこ）	保原町
栗城 新（くりき あらた）	金山町
中山スミ子（なかやますみこ）	白沢村
末松智文（すえまつともふみ）	

母県動向

あいづデステイネーション
キャンペーン

平成十七年七月一日から九月三十日まで、会津地域を対象としてデステイネーションキャンペーンが開催されています。デステイネーションとは、地元の市町村や観光関係者、JR六社が協力し、全国からの誘客を図ることを目的に展開される大型観光キャンペーンのことです。開催期間中、JR各社は全国の駅、電車内等へのポスターの掲出

やガイドブックの配置など、「あいづ」を集中的に宣伝するとともに、旅行会社は会津の旅行商品を販売しています。

今、会津では多くのお客様においでいただけるよう、また、おいでいただいたお客様に満足していただけるよう、各種イベントや取り組みを行っています。

県人会の皆さんも、この機会に、ぜひ会津を訪れてみませんか！

YOSAKOIソーラン ジュニア東日本大会

第四回YOSAKOIソーランジュニア東日本大会は七月三十日(三十一日)、福島県天栄村羽鳥湖高原レジーナの森など三会場で開催されました。

本大会は、札幌市の「YOSAKOIソーラン祭り」公認のジュニア大会に位置づけられており、着実に発展してきました。

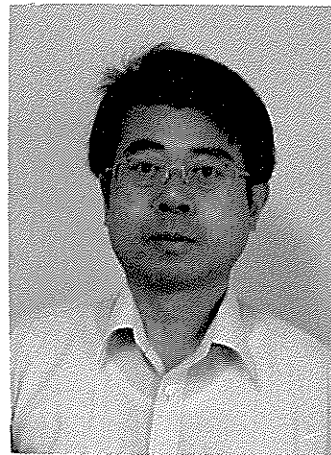
第四回目を迎えた今年は、県内をはじめ北海道、東北、関東から四十一チーム、約千三百名の子供達に参加し、演舞を繰り広げました。最高賞の大賞には茨城県のチームが選ばれ、来年札幌市で開催されるYOSAKOIソーラン祭りへの参加資格を与えられました。

た。

なお、昨年の札幌市のソーラン祭りに天栄村が参加した際に、札幌福島県人会が激励会を開いたのが縁で、今回の大会に三名の会員が招待され、交流を深めてきました。

新任職員自己紹介

主幹兼次長 甲斐敬市郎



はじめまして。会津農林事務所農業普及部から異動してまいりました。出身は白虎隊の故郷、会津若松市です。会津に家族四人を残しての単身赴任です。どうぞよろしく願います。

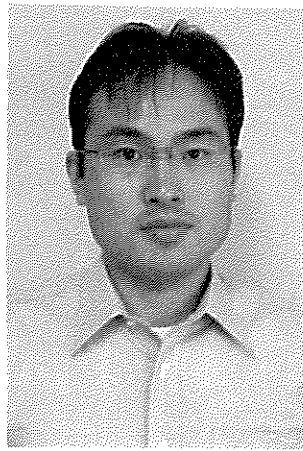
さて、北海道には仕事で二回来たことがあります。ほとんどはじめてといってもいいくらいです。見知らぬ土地での一人暮らしで不安で一杯でしたが、着任早々

浜中町や帯広の県人会総会に出席する機会があり、暖かい励ましの言葉を頂戴して元気が沸々と湧いてきました。また、五月の連合会総会では、県人会の皆さまの御協力により無事終了することができましたことに厚く御礼申し上げます。

今後とも、県人会の皆さまの御支援をいただきながら精一杯頑張っておりますので、よろしくお願います。

新任職員自己紹介

副主査 鈴木 健二



はじめまして。四月一日の定期人事異動により北海道事務所に参りました鈴木健二と申します。

この前の職場は、教育庁生涯学習領域文化財グループというところで、文化財建造物の修理指導や補助金交付事務、銃砲刀剣類登録事務等を行っていました。

最近の異常気象が影響しているのようですが、四月に赴任してきて真駒内の公舎の前に大量の雪が残っていて引越が大変だったのを思い出します。

北海道にはこれまで二回しか訪れたことがなかったので、今回の赴任を機会に公私において北海道を堪能し、道のすばらしさを心に刻み、福島県の良さを再発見できればと考えております。

微力ではありますが、県会員の力になれば光栄です。

編集後記

札幌に赴任してあつという間に四カ月。この間、各地での物産展や観光展、県人会連合会総会などイベントが目白押し。こんな時、一番頼りになるのは県人会の皆さんです。今年も色々な面でお世話になります。

さて、「知床」が世界自然遺産に登録、国内では第三番目の登録です。また、重要な湿原を保全するラムサール条約に新たに道内から六カ所が申請される見込みのこと。自然豊かな北海道。この貴重な自然環境を守り、しっかりと次の世代に引き継いでいきたいものです。